

スポーツ少年団

昭和 47 年(1972 年)創立

【あゆみ】

スポーツ少年団は東京オリンピックを記念して、少年スポーツの促進と地域との連携を目的に文部省（現在の文科省）が、昭和 37 年（1962 年）に創設したのが始まりである。

茅ヶ崎市におけるスポーツ少年団の誕生は、それから 7 年後の昭和 44 年（1969 年）4 月に浜見平スポーツ少年団が市として初めて登録認定を受けた。その後、昭和 46 年までに 13 団体が認定登録され、市本部発足のきっかけとなり、昭和 47 年（1972 年）1 月「スポーツを通じて、青少年の体と心を育てる組織を地域社会の中に！」の願いのもと茅ヶ崎市スポーツ少年団の市本部が設置されたのである。

【手探りの初期と

発展の昭和 50 年～60 年代】

発足当時は、まだまだ暗中模索の活動であったが、仲間は次第に増えていった。市本部としての活動も県及び全国への参加を積極的に行ない、スポーツ少年団としてのあるべき姿、あるべき組織について学び、次第に県のスポーツ少年団のリーダーとして活躍するようになっていったのである。

昭和 50 年代に入るとスポーツ少年団の意義と教育的効果が評価され、爆発的な団及び団員の増加がみられる様になったので

ある。ちなみに昭和 55 年(1980 年)には、登録団 65 団、団員 1,800 名を数えている。この頃の団及び団員の特徴は、野球の団が圧倒的に多く、女子の団員が昭和 60 年頃までは常に 500 名はいたことである。

【少年団出身の本部長を迎え新時代へ！】

平成の時代に入ると、団数も自然淘汰され団員数も 1,300 名前後で推移している。市の組織も確立され、本部長・副本部長のもと、財務、指導、種目、事業、育成、広報の各委員長、そして、その下に各地域から推薦された委員 10 名が毎月会議を開き、それぞれの受け持ちの事業をどの様に実現、運営していくかを検討している。この様な市本部の活動は神奈川県下のスポーツ少年団市本部の見本として注目を浴びている。

昭和 62 年（1987 年）からの添田本部長に代わり、平成 12 年からスポーツ少年団出身の本部長 佐藤 光を迎え、茅ヶ崎市スポーツ少年団は新たな第一歩を踏み出したのである。

ちなみに、平成 20 年（2008 年）9 月現在の登録団数は 34 団、種目は野球、ミニバスケットボール、サッカー、バレーボール、空手、剣道、テニス、ソフトボール、さらには海の街茅ヶ崎らしくサーフィン・ボディーボード等の 9 種目のスポーツが実施されている。

【歴代役員】

	S46～S50 度	S51～S52 度	S53～S58 度	S59～S62 度	S63～H3 度
本部長	添田良信	添田高明	添田高明	添田高明	添田高明
副本部長	石山昭夫 横須賀武	石山昭夫 松田国雄	松田国雄 岩本 隆	岩本 隆 前田照勝	前田照勝 山下昭良
	H4～H7 度	H8～H11 度	H12～H13 度	H14～H15 度	H16～
本部長	添田高明	添田高明	佐藤 光	佐藤 光	佐藤 光
副本部長	山下昭良 荻野昌男	荻野昌男 森 國昭	荻野昌男 森 國昭	荻野昌男 緒方武人 渡邊克己	荻野昌男 緒方武人



(メガパフォーマンス)



(毎年恒例の
駅伝・マラソン大会)